

Q 4町融和と自治組織の運営方針は

木戸 基夫 議員

A コミュニティの融和に向けて環境を整備

市長

Q 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。

A 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。また、各地域の状態を把握され、各支所を利用して、地域の活性化に努めてほしい。イベントには、全市から参加できるように、交通手段を確保するなどの配慮をお願いしたい。

また、自治組織の運営については、旧自治組織の活動を尊重しつつ、将来的には統一を図りたい。そのために、自治組織が主体的に議論ができる環境を整え、その議論に加わりたいと考えています。



↑協力し合って古紙リサイクル活動をする区民

Q 早急に「イノシシ被害対策協議会」を

山本 郁男 議員

A 各方面で組織化を図る

市長

Q 西能美地区は、イノシシ被害が年々拡大してきており、農作物を作付けしても収穫ができないという現状が起き、就農意欲を無くしています。

また、中町・高田地区においては、民家の近くまでイノシシが出てきていて、高齢者や子どもたちに被害が及ぶのではないかと危惧しているところがあります。

私は被害実態をお聞きし、早急に対策を考えなくてはいけないと思います。有識者、関係者、猟友関係者など幅広い分野の方々と、組織化を図るよう関係部課に指示しているところです。



↑イノシシ防護柵 (沖美町岡大王)

Q 自治会組織に対する取り組みは

住岡 淳一 議員

A 行政と一体となつて活発化

市長

Q 旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。

旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。旧4町では、現在コミュニティ推進協議会、区民会、協力員等の組織がある。今後、自主自立でその地域を盛り上げる地域運営システムの確立が必要不可欠になる。

立っている。自治会組織の活性化のためには、今後、支所機能を活発化させ、行政がリーダーシップを取り、住民総意となるような組織作りを取り組みたい。



↑区民による一斉清掃



↑被害を受けた水田 (点線部分) (能美町高田)

Q イノシシ被害対策を

林 久光 議員

A 総合的に有効な対策を講じる

市長

Q 能美・沖美・大柿地区では、イノシシ被害が年々拡大し、野菜や稲、みかん、畑の石垣等が容赦なく荒らされています。私が高田地区に限り調査した結果、野菜類50か所2.2ha、みかん51か所4.2ha、稲その他20か所2.0ha、合計で121か所8.4ha

の大きな被害になっていました。このままでは被災地域は全島に広がり、農業は大打撃を受けることとなります。この被害対策と、被害対策協議会等の組織の早急なる設置は。

行政も実態把握に努め、対策協議会等の組織立上げを前向きに検討します。また、国等の助成処置や、イノシシ生態の理解等総合的に有効な被害対策を講じたいと考えています。

Q 4町融和と自治組織の運営方針は

木戸 基夫 議員

A コミュニティの融和に向けて環境を整備

市長

Q 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。

A 旧4町の融和を図るための方策と、自治組織の運営にどのような方針をお持ちか。また、各地域の状態を把握され、各支所を利用して、地域の活性化に努めてほしい。イベントには、全市から参加できるように、交通手段を確保するなどの配慮をお願いしたい。

また、自治組織の運営については、旧自治組織の活動を尊重しつつ、将来的には統一を図りたい。そのために、自治組織が主体的に議論ができる環境を整え、その議論に加わりたいと考えています。



↑協力し合って古紙リサイクル活動をする区民

Q 早急に「イノシシ被害対策協議会」を

山本 郁男 議員

A 各方面で組織化を図る

市長

Q 西能美地区は、イノシシ被害が年々拡大してきており、農作物を作付けしても収穫ができないという現状が起き、就農意欲を無くしています。

また、中町・高田地区においては、民家の近くまでイノシシが出てきていて、高齢者や子どもたちに被害が及ぶのではないかと危惧しているところがあります。

私は被害実態をお聞きし、早急に対策を考えなくてはいけないと思います。有識者、関係者、猟友関係者など幅広い分野の方々と、組織化を図るよう関係部課に指示しているところです。



↑イノシシ防護柵 (沖美町岡大王)

Q 自治会組織に対する取り組みは

住岡 淳一 議員

A 行政と一体となつて活発化

市長

Q 旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。

旧4町の自治会組織はどのような状況になっていますか。また、今後の望ましい組織とは。旧4町では、現在コミュニティ推進協議会、区民会、協力員等の組織がある。今後、自主自立でその地域を盛り上げる地域運営システムの確立が必要不可欠になる。

立っている。自治会組織の活性化のためには、今後、支所機能を活発化させ、行政がリーダーシップを取り、住民総意となるような組織作りを取り組みたい。



↑区民による一斉清掃



↑被害を受けた水田 (点線部分) (能美町高田)

Q イノシシ被害対策を

林 久光 議員

A 総合的に有効な対策を講じる

市長

Q 能美・沖美・大柿地区では、イノシシ被害が年々拡大し、野菜や稲、みかん、畑の石垣等が容赦なく荒らされています。私が高田地区に限り調査した結果、野菜類50か所2.2ha、みかん51か所4.2ha、稲その他20か所2.0ha、合計で121か所8.4ha

の大きな被害になっていました。このままでは被災地域は全島に広がり、農業は大打撃を受けることとなります。この被害対策と、被害対策協議会等の組織の早急なる設置は。

行政も実態把握に努め、対策協議会等の組織立上げを前向きに検討します。また、国等の助成処置や、イノシシ生態の理解等総合的に有効な被害対策を講じたいと考えています。